

発電所から家庭に届く電気は…1秒もかからない!?

6年「電気とわたしの暮らし」の学習で、関西電力（株）様にお越しいただき、出前教室をしていただいています。（2年継続して取り組んでいます。）①暮らしの中の電気 ②電気の道～電気が家に届くまで～ ③電気をつくる～発電のしくみ～ ④地球温暖化って？省エネに取り組もう！ の4つを学びました。



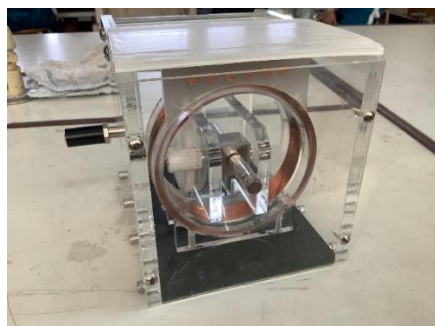
大きな電子黒板はやっぱりいいですね！



手回し発電



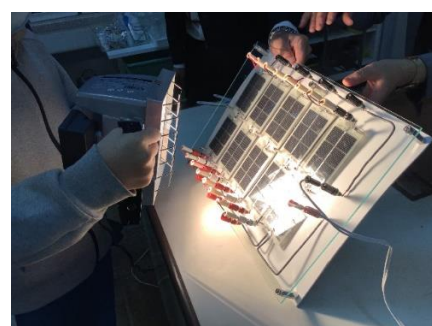
風力発電



コイルに磁石を回転すると発電する



配電線（手前：アルミ製 黒：銅製）



太陽光発電



蒸気をためて一気に噴き出し、タービンを回す装置



雲がかかると発電しないデメリットも

- ・私は、普段電柱を見てなかったけど、電柱にゴミ箱みたいな箱があり、それは、柱上変圧器という名前でした。柱上変圧器によって家庭用の100V～200Vに電圧を下げて、各家庭に送っていることが初めて知りました。
- ・電気がどのようにできるかを、回して体験できたので大体電気がどのようにできるのかが分かりました。うちでプロペラみたいなのを回す体験ができたのでよかったです。
- ・実験や、再現で様子が分かり、理解しやすかったです。火力発電、風力発電、水力発電、原子力発電、太陽光発電の仕組みが分かりました。
- ・ウランという小さな燃料だけで家族四人の半年分だということが分かりました。
- ・水力発電は、二酸化炭素がでないから、地球には優しくて、火力発電は、二酸化炭素がでるので、地球にはあまり優しくないのが分かりました。

＜児童の感想より抜粋＞